

## 平成22年度市町村行政課題研究グループ助成対象グループ決定一覧

市町村名	団体名	研究テーマ	研究の概要
1 高崎市	都市観光研究会	市街地活性化による都市観光の集客誘致	市街地におけるイベントの発信や観光名所の発掘、さらには創出により北関東自動車道全面開通や北陸新幹線の金沢開業を控え、今まで誘致出来なかった遠隔地の観光客をターゲットに都市観光の研究を行う。
2 高崎市	「業務改善改革運動」研究会	業務改善運動や政策提案制度等のあり方を調査研究する	既存の政策研究制度や職員提案制度等を見直すとともに、業務改善運動や政策提案制度等のあり方を調査研究し、全庁共通の行政運営のツールとして活用できる制度の構築を目指す。
3 高崎市	コンベンション研究会	コンベンションのあり方	群馬県の玄関口である高崎駅周辺部において、交通の拠点性を活かしたコンベンション機能のあり方について研究を行う。
4 桐生市	kiryu-kiryu(キリキリ)	各種モビリティを活用した低炭素観光都市づくり	本市域では現在、低炭素社会の実現を目指し、群馬大学工学部を中心に様々な取り組みが進められています。また、本市では本町一・二丁目、地区の歴史的な建造物を観光資源として活用し、まちなか観光を推進しています。こうした状況下、まちなかに環境配慮型の各種モビリティを導入することで、全国的にも直線距離が非常に長いことが特徴である本市中心商店街を観光客に容易に周遊してもらう環境を整え、観光誘客に結びつけることを目的に、各種モビリティの走行に係る法手続き上の課題や新たな交通システムとしての実効性等について研究する。
5 桐生市 伊勢崎市 太田市 館林市 みどり市	両毛ルネッサンス	両毛地域のいるとかたち	これからの行政課題は、一自治体では解決しないことが多い。生活圏を同じくする地域全体の課題として取り組むことで、地域間競争に勝ち抜く魅力づくりが可能となる。本研究では、広義の両毛地域の魅力を再発見し、新たな視点・発想から分析することで、地域想像の革新と洗練を模索する。
6 館林市	まちなか元気研究会	まちなかの元気の具体的戦略	市内のまちなか元気を目的に先進事例を学びながら具体的戦略を検討する。先進地事例の研究 先進地視察 講師を招いた勉強会 研究員による提案報告書の作成
7 神流町	神流町役場職員勉強会	神流町の観光資源の発掘と高齢化対策	過疎化及び少子高齢化が進む神流町の状況に対し、活性化のためには観光対策が欠かせないため、町の売り込み方や特産品の発掘などの研究を行う。一方、平成22年4月時点で高齢化比率が50.7%と非常に高く、高齢者のための町単独事業や施設整備について、財政状況を勘案しつつ研究を行う。
8 中之条町	ふるさとに会える町研究グループ	町村合併における町づくりの推進	新たな観光資源発掘のために次の方法で調査・研究を実施する。旅行会社等からヒアリングし、消費者ニーズを把握。データ収集・分析による中之条町の現状把握。先進地の視察。PR方法の研究、報告書の作成
9 明和町	法制研修部会	法制執務及び行政法の基礎学力の向上	『法制執務詳解』を活用し、基礎的学力を向上させる。また、地域特有の身近な問題につて、異分野の職員により、多角的な議論を行う。今後、多様化する住民ニーズに対応できる職員育成を目指す。